

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2020年9月9日(水) 12時00分～13時00分

場所： 秋季年会(弘前大学)

(本代議員総会は COVID-19 感染拡大防止対策のためオンラインで開催された)

出席代議員：鈴木、深川、谷本、犬塚、榎戸、野村、松下、坪井、土居、井岡、北山、縣、横山、百瀬、大内、梅村、一本、河野、鶴、長田、郷田、戸谷、須藤、本間、相川、大須賀、太田、浅井、大向、秋山、大朝、津村、吉田、米徳、藤沢、江草、生田、福江、赤堀、柏川、細川、今井(以上42名、委任状1名)

欠席代議員：奥村(以上1名)

大石幹事、田村副会長、馬場副会長、伊王野庶務理事、鹿野会計理事、早野会計理事、酒井年会実行理事、山村ジュニアセッション理事、佐藤事務長、黒岩・田口谷事務長補佐が出席した。梅村会長、鈴木庶務理事は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が42名、議長委任状が1件、合計43件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。前回代議員総会(2020年6月7日)の議事録が確認された。

また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：梅村雅之

署名人：梅村雅之

II. 議題

II-1. 有期雇用契約の職に就く正会員の2020年度会費免除について(資料3、鹿野)

新型コロナウイルス感染症拡大のため、研究活動に支障をきたし困窮する有期雇用の職に就く正会員の2020年度会費を免除することが提案された。免除対象者については再考の余地があることが指摘されたため、申請書の修正版を後日回覧することとし、賛成多数で承認された。

II-2. 年会時の懇親会への資金補助について(資料4、鹿野)

日本天文学会年会時の懇親会は、参加者から集める参加費による完全な独立採算制を採用している。近年は、過去の懇親会で出た余剰金の預かり金から若干の補助も行っているが、その余剰金残高が減少しており、来年度には補助を打ち切らざるを得ない状況である。そこで、年会懇親会の安定的な実施のために、以下の提案がされた。

- 学会からの補助は継続し、その財源は、余剰金の預かり金を基本とするが、それが枯渇した際には、天文学会の法人会計をそれに充てる

なお、開催地には、地方自治体等の支援制度をできる限り活用してもらうこととする。また、本提案は会計検査的にも問題ないということが確認されている。賛成多数で承認された。

II-3. ジュニアセッションについて(資料10、山村)

日本天文学会春季年会で行われているジュニアセッションの参加者が、ジュニアセッション以外の研究発表を聴講(ポスター閲覧含む)する際の参加費の支払いについて、以下のように取り

扱うことが提案された。

- ジュニアセッションで発表を行う生徒を引率する研究指導者については、生徒の教育指導の参考とすることを目的とする場合、発表1件につき1名までは参加費を徴収しない。なお、ジュニアセッション自体の参加・発表については、登録料・参加費は無料である。また、ジュニアセッションで発表を行う生徒については、従来通り参加費を徴収しない。賛成多数で承認された。

検討課題：

年会費と年会参加費について(資料5、鹿野)

年会費と年会参加費の見直しは、前期理事会からの継続案件であり、近い将来に修正案をまとめる予定である。学会予算の現状説明および複数の典型的修正案とそれによる影響の考察が提示された。会員と非会員との格差についてさらに検討することとした。継続審議とする。

III. 報告

III-1. 秋季年会の現場報告について(酒井)

現在まで大きなトラブルなく、順調に進んでいることが報告された。また、年会の後にアンケートを実施する予定であることが報告された。アンケートでは、オンライン開催についての感想のほか、「銀河形成」セッションを「銀河形成進化」に変更することについて聞く。

III-2. キャリア支援委員会の委員の交代について(資料6、鈴木)

キャリア支援委員会の新委員として近藤寛人(名古屋大 D1)、古郡国彦(名古屋大 M2)が提案された。現委員の伊師大貴(都立大 D2)、福島碧都(都立大 D1)が退任する。理事会で承認されたことが報告された。

III-3. 日本天文学会研究奨励賞受賞資格変更提案書(資料7、馬場)

日本天文学会研究奨励賞の受賞資格は厳格に年齢で制限されており、産休育休や傷病などで一定期間研究を離れざるを得なかった優秀な若手研究者が参加しづらい状況を作り出している。このように、やむを得ない事情で一定期間研究を離れる優秀な若手研究者に対して本賞を授与することができていない可能性がある。そこで、日本天文学会研究奨励賞内規および募集要項の受賞資格の改訂案が示され、文言の修正後、理事会で承認されたことが報告された。

III-4. インターネット天文学アンケート調査結果について(資料8、縣)

6月にインターネット天文学辞典のアンケート調査を行い、良い評判が得られていることが報告された。

III-5. 古在賞等の選考委員について(資料9、梅村)

天文学振興財団より「古在由秀賞」および「吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞」の選考委員の推薦依頼があった。理事会、代議員総会での申し合わせに基づき、現林忠四郎賞選考委員会委員の7名を推薦し、全員が選考委員会に就任したことが報告された。

III-6. 理事会(2020年9月7日)の報告(鈴木)

2020年9月7日に開催された理事会の報告がされた。

III-7. 日本学術会議 天文学・宇宙物理学分科会報告、IAU 分科会報告(深川)

日本学術会議天文学・宇宙物理学分科会およびIAU分科会の報告がされた。

[資料リスト]

資料 1 代議員総会出欠席表

資料 2 前回(2020年6月7日)代議員総会議事録(案)

資料 3 公益社団法人日本天文学会理事会議事録

資料 4 年会時の懇親会への資金補助について

資料 5 年会費と年会参加費について

資料 6 キャリア支援委員会の委員交代について

資料 7 日本天文学会研究奨励賞受賞資格変更提案書

資料 8 インターネット天文学アンケート調査(2020年6月実施)報告

資料 9 天文学振興財団「古在由秀賞」および「吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞」について

資料 10 ジュニアセッション参加者の天文学会年会一般講演聴講について

2020年9月9日

議長・署名人：梅 村 雅 之 印